

祝卒園

†主の平安 みなさん、ご卒園おめでとうございます。今年度卒園するAさんはみんなで49人。創立50年という記念の年に 卒園していくので、子どもたちにとって大きな神様からのプレゼントになります。私もとても誇りに思います。今日までみんなよく遊び、しっかり学んできました。今では楽しかったことも辛かったことも色々あったけど、一つ一つ懐かしい思い出になっていると思います。4月からいよいよみんな小学生になりますね。少学校に行ってもひまわり幼稚園のこと忘れずに思い出して下さいね。そして、少学校に行ってもしっかり勉強して、どんなに苦しく辛いことがあっても我慢して頑張ってください。Aさんは自信を持って一人で行ける強い心と優しさを、ここでよく学びましたから頑張れると信じています。みんなのこと、先生方と一緒に祈りしながら、いつまでも応援しています。神様の祝福を祈りつつ <園長 頭島>



【いつも優しく見守るマリア様】



【5月 聖母行列】



【7月お泊り保育夕食・スイカわり大会】



【10月運動会】



【6月プール】

★幼稚園の思い出★

毎日、楽しかったね！

優しい心、諦めない心、思いやりの心
小学生になってもひまわりの花のように太陽に向かって
大きな輪を描いて下さい。

～今年度退職される先生方から～

木曜日、金曜日になると「薫先生、今日の横割り何するの？」とにこにこしながら尋ねてくるCさん。「何にしようかな？何がしたい？」と会話を楽しみながら、私自身もこの時間を楽しみにしていました。50人弱のC、Dさんと一緒にするリトミック、季節の製作、体操遊び、絵画、楽器遊びなど、始めの頃、不安で泣いていた、走り回っていた子も3学期になるとちゃんとお話が聞けるようになり、自分で考えて行動したり、工夫して作ったりする事が出来るようになりました。潜在能力の高さに驚いた瞬間でした。モンテッソーリ教育で言う敏感期に関わられたこと、出来たという喜びの瞬間に立ち会えたこと、とても嬉しく思いました。私が好きな子どもの歌で「かめの遠足」という歌があります。その中で「のんびりゆこう のんびりゆこう いそいでゆくと すぐおわるだろう のんびりゆこう のんびりゆこう ゆっくりゆけば まだまだつづく」という歌詞があります。ここからは、皆様と同じ親として(高2娘、中2双子男有り)一言、子育ては、まだまだ始まったばかりです。つつい他と比べてしまったり焦ってしまったりしがちですが、お子さんと一緒に過ごせる時間を大切に、ゆっくりでもいいその子なりの成長を見守ってほしいですね。最後に、支えて下さった御父兄の皆様ありがとうございました。ひまわり幼稚園で皆様と過ごせた時間、私の宝物になりました。 <ミカエル組 堂園>



【2月小学校に行きました】

ひまわり幼稚園に勤め、あっという間に2年6カ月が経ちました最初はバスに乗り園児達と一緒に歌ったり、しりとりやなぞなぞをしたり、たくさん思い出が出来ました。昨年の4月より「なかよし組」を見ることになり、『主の祈り』のお祈りで始まり、おやつ、本の読み聞かせ、晴れの日には園庭で元気一杯遊ぶ子どもたちの笑顔、優しい心に触れ私の方が感謝の気持ちになりました。保護者の皆様、園長先生、職員の方々お世話になりました。最後に楽しい経験をさせて頂きありがとうございました。 <なかよし組 久保>

クラスの思い出

あぐねすぐみ

【ありがとう！】



【聖母行列】

「ありがとう」この一年で、子どもたちからこの言葉が何十回も何百回も聞こえてきました。子どもたちの教えられて出来るのではなく、一緒に生活するお友だちから恵みを貰い、何気ない小さなことへも感謝できる姿から、私自身もたくさんの心を分けて貰いました。今年度あぐねすぐみ組は、卒園児7名に加え5名のお友だちとお別れすることになりました。大好きだったお友だちへそれぞれ作ったプレゼントには「ありがとう」の思いがたくさん込められているものばかりでした。寂しくなりますが、それぞれの場所で互いに歩んでいけること、元気で過ごせることを、今日お祈りました。 <あぐねすぐみ 二宮>

ぱうろぐみ



【交通安全教室横断歩道の渡り方】

「つぼみ」の歌がお気に入りの〇〇ちゃん。「先生！お外につぼみがねんねしてたよ！！」と嬉しそうに教えてくれます。つくしやちょうちよの姿も見られるようになり、子どもたちは暖かな春がやって来た事を全身で感じているようです。この一年間、子どもたちと過ごし改めて子どもの感性の豊かさや成長に驚く日々でした。頑張りたいけど難しい時、お友だちとケンカをしたとき、気持ちもどかしい時もあったと思います。しかし、冬の寒さに耐えて花を咲かす蕾のように、その時の辛さ、悔しさがきっとバネになって子どもたちを咲かせてくれると信じています。 <ぱうろ組 田中>

ぺとろぐみ



【七夕飾り】

「あと〇〇回でみんなとお別れだ。」と3月に入り、卒園までのカウントダウンが始まっていたAさんたち。Aさんが喧嘩をする度に、周りの子どもたちから「もうすぐお別れなんだから仲良くしなきゃ！」という声が聞こえてきました。子どもたちは園生活の中で、たくさんのお友だちと触れ合い様々なことを学び合ってきました。そして、自分を見つめ、同じように周りの友だちに向ける優しい眼差しに大きな成長を感じる毎日でした。それぞれが進級していく中で、お互いを大切に思い、そっと寄り添う心の豊かさは、今後の成長の大きな支えになることと思います。これからも心から声援を送っています。 <ぺとろ組 有田>

よぜふぐみ

「あと〇〇日で卒園式だ！」「Aさんとお別れイヤだなあ」「もうすぐAさんだ！」という子どもたちの会話が聞こえてきます。子どもたち一人一人が進級に向けて様々な気持ちを抱いている様です。この1年間子どもたちと過ごす日々の中で、子どもたちの「ひとりで出来た！！」という声をたくさん聞くことが出来ました。難しく諦めそうになっても諦めずに頑張ったり、それを見ていて応援したり...子どもたちの素敵な心をたくさん感じる事が出来ました。子どもたちのやり遂げた時の達成感はとても大きな自信となることと思います。この自信を胸に一人一人が新しい環境、生活で頑張れることをお祈りしています。 <よぜふ組 森水>



【クッキーづくり】

まりあぐみ

まりあぐみのAさんたちは、お世話がとても上手でこの1年、着替えから給食の配膳、トイレの付き添いと一つ一つの事を丁寧に手伝ってくれました。3月になったばかりのある日、いつものようにAの〇〇君はCさんの着替えを手伝おうと手を伸ばしました。すると、Cさんの口から「もうすぐBさんだから自分でしてみる」と一言。はっとした〇〇君は他のAさんたちに「僕たちは、もうすぐ幼稚園からいなくなるんだよ。ずっとお世話ばかりして出来ないままだと、Bさんになったら困るからもうお世話はやめよう」と声を掛けていました。成長しようとするCさん、その気持ちを受け止め見守るAさん。子どもたちはお互いに支え合いながら、心も体も大きくなるのを感じました。 <まりあ組 今村>



【お別れ遠足】

くららぐみ

くらら組には、人前に出ることが苦手な子が多く、一步後ろに下がってしまう姿が見られていました。一学期からクラスでのお集まりの際は、少しずつ前に出てくるようになり、その姿を見ていた周りの子どもたちも自然と拍手をして喜んでくれ、クラスみんなで喜び合う機会が多くなりました。すると、運動会、クリスマス会などの大きな行事はもちろん日常の中でもみんなの前にお手本として出てくれたり、自分の気持ちを発表してくれたりして、自信を持ってきたように思います。一年を通して、クラス全体が一人一人の成長をみんなで認め合い喜び合えるクラスになっていけたと感じています。 <くらら組 浅井>

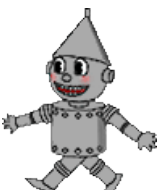


【メルヘン館】



～ロボットコンテスト～

作品展が終わり、3月10日にロボットコンテストが行われました。参加は自由で、3日間の製作時間を設け18人が取り組みました。コンテストに於いては、お客さんの前で自分のロボットについての説明をしなくてはなりません。お客さんも自由参加です。「僕のロボットは、ここを開けると焼きいもが出てきます！」思わず、会場が笑いで賑やかになります。「なんで焼きいも？」と思いましたが、子どもは違えます！周りから「あの中で焼いているんだ！」想像が豊かに広がっていき声が聞こえてきました。説明を聞いた後に、1人が3体のロボットに投票します。「聞いた説明とロボットをよく見て自分の気持ちで選んでください」開票の結果、票の多い順から景品を選んでいきました。景品を貰って喜んでお友だちの姿に、参加を迷って出来なかった子どもが「僕もすればよかった」と一言...しかしこれもまた、ひとつの経験となったことでしょう。 <Aの部屋 藤田>



Aぐみ・Aさん→年長児
Bぐみ・Bさん→年中児
Cぐみ・Cさん→年少児
Dぐみ・Dさん→満3歳児



学校法人カトリック学園 ひまわり幼稚園

〒891-0113 鹿児島市東谷山3丁目31-13 TEL:099-268-2340 FAX:268-2333